施工説明書



TOTO

# 切替バルブ／開閉バルブ

TBX6A型
TBX9A型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

## 1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

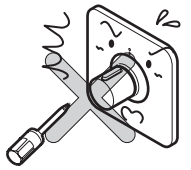
●この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

| | |
|---|---|
| ⚠ 警告 | この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
| ⚠ 注意 | この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。 |

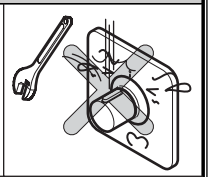
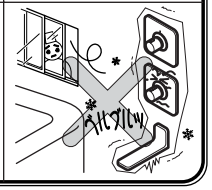
●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

| | |
|---|---|
| | ⃠は、してはいけない「禁止」内容です。<br>左図は、「分解禁止」を示します。 |
| | ❗は、必ず実行していただく「強制」内容です。<br>左図は、「必ず実行」を示します。 |

### ⚠ 警　告

| | | |
|---|---|---|
| 禁　止 | **給湯温度は85℃より高温で使用しない**<br>85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。 | |
| 分解禁止 | **この説明書に記載された項目以外は分解・改造しない**<br>破損して、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。 |  |

### ⚠ 注　意

| | | |
|---|---|---|
| 禁　止 | **強い力や衝撃を与えない**<br>破損して、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。 |  |
| | **凍結が予想される場所に設置しない**<br>部品が破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。 |  |

## 2 仕様

| | | |
|---|---|---|
| 給水・給湯圧力 | 最低必要水圧 | 0.15MPa（流動圧） |
| | 最高水圧 | 0.75MPa（静水圧） |
| 使用最高温度 | | 85℃以下 |
| 使用可能水質 | | 水道水および飲用可能な井戸水 |
| 使用環境温度 | | 1～40℃ |
| 用　途 | | パブリックおよび一般住宅浴室用 |

## 3 取り付け前に

- ●給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2～0.3MPa程度に減圧してください。
  快適に水栓をお使いいただくためには、0.2～0.3MPa程度の圧力をおすすめします。
- ●誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
  また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。
- ●誤操作などによるやけど防止のため、60℃給湯をおすすめします。
- ●給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- ●梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性がありますが、商品には問題ありません。

## 4 部品の確認

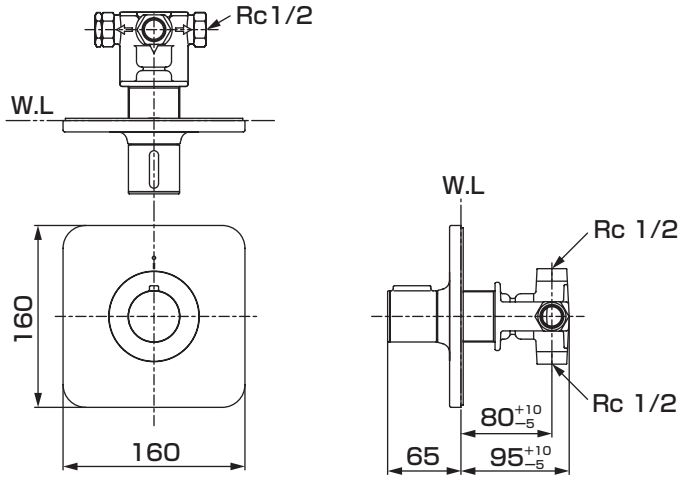
次の部品があることを確認してください。

| バルブ本体部 | ハンドル部 |
|---|---|
| ふさぎふた、養生カバー、切替バルブ本体(TBX6A型)、プレート | ハンドル、キャップ、小ねじ |
| ふさぎふた、養生カバー、ふさぎふた、開閉バルブ本体(TBX9A型)、プレート | その他 |
| カバー、ナット、リング | 施工説明書 |

※ 品番によっては図と現品の形状が一部異なります。

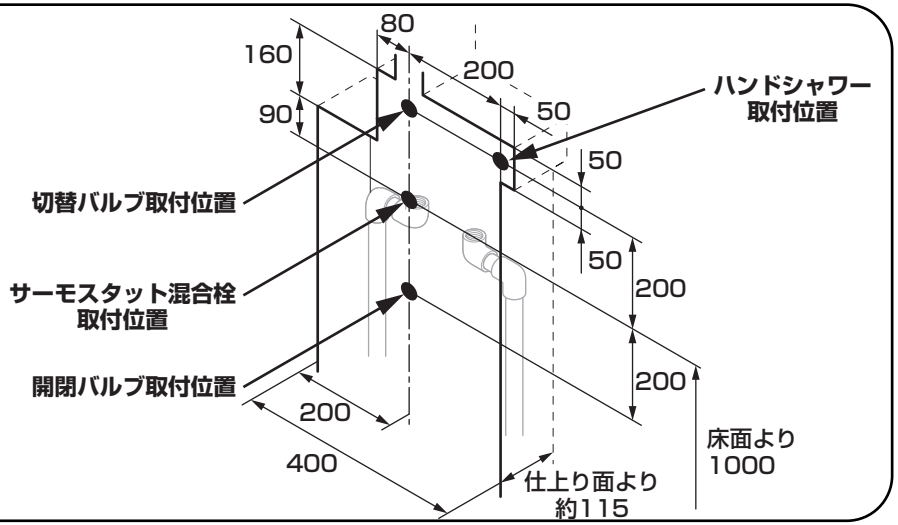
## 5 完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。




## 6 下準備

下記寸法で、水栓器具の設置場所を確保してください。




裏面へつづく

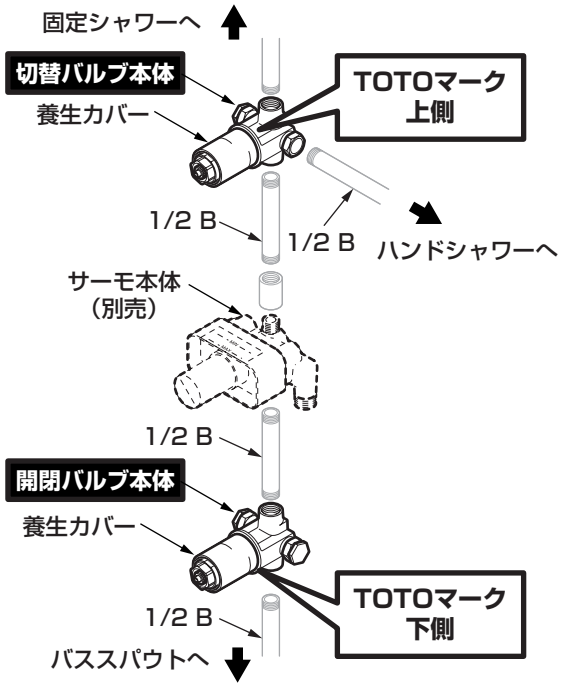
# 7-1 施工手順

## 1 本体の接続

切替バルブ・開閉バルブを向きに注意して別売のサーモ本体に接続する。

**注 意**

- **バルブの向きを間違えないように注意してください。向きを間違えると正常に機能しません。**
- **接続には、市販品の配管部材を別途手配してください。**
- **接続箇所には、必ず配管用シール材を使用してください。**
- **養生カバーは紛失しないように注意してください。**




## 2 給水・給湯管内の清掃

重要

取り付ける前に**必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

## 3 給水・給湯管の接続

※給水・給湯管の接続については、別途［サーモスタット混合栓施工説明書］を参照のうえ、取り付けてください。

重要

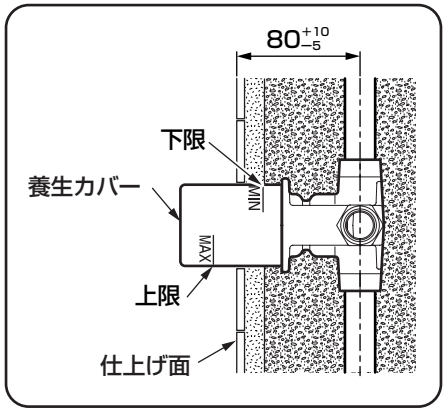
配管接続後、**埋め込み配管部に通水し、接続部分から水漏れがないことを確認する。**

## 4 壁の仕上げ

①モルタルなどで埋め戻す。

**注 意**

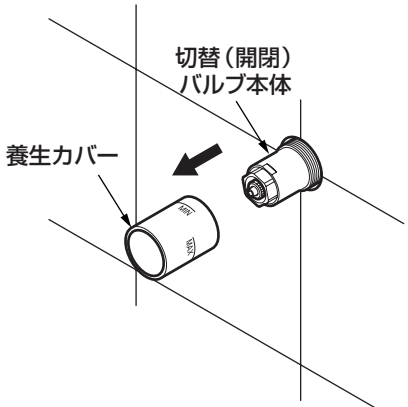
- **養生カバーの内側にモルタルなどが入り込まないように注意してください。**
- **モルタルなどによる埋め戻しをしない場合、給水・給湯管および各配管はホルダーなどを用いて十分に固定し、器具が動かないようにしてください。**




②養生カバーに表示してある仕上げ範囲内に納まるように壁の仕上げをする。

**注 意**

**仕上げ範囲を超えるとプレートなどの正常な取り付けができませんので、壁仕上げについては十分に打ち合わせしておいてください。**



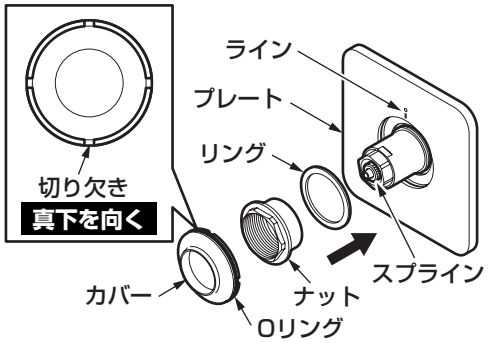

③壁の仕上げ後、養生カバーを引き抜く。

**注 意**

**養生カバーは壁の仕上げが終わるまでかぶせたままにしておいてください。**

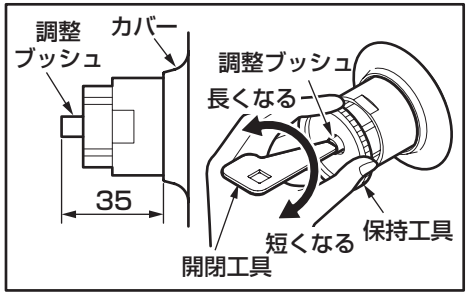
## 5 プレート・カバー・ハンドルの取り付け

①プレートのラインが上側にくるように開口部に合わせて取り付け、リングを入れ、ナットで固定する。

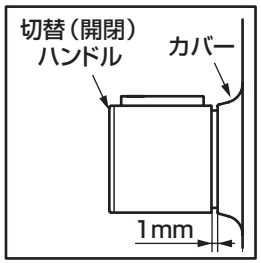



②カバーの切り欠きが真下を向くように押し込む。
※カバーが取り付け難い場合は、Oリングにせっけん水を薄く塗布すると取り付け易くなります。

③サーモスタット混合栓に同梱の保持工具をスプラインに差し込む。




④保持工具が回らないように手で押さえ、カバーの先端と調整ブッシュ先端までの距離が35mmになるように調整ブッシュを開閉工具などで調整する。
※距離が短い場合は反時計回りに、長い場合は時計回りに回してください。

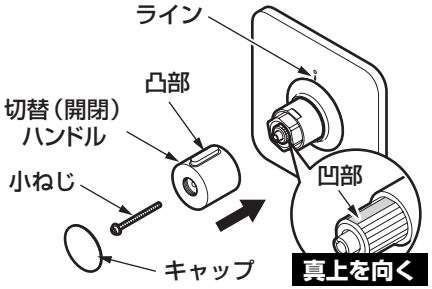



⑤調整ブッシュの凹部が真上を向いていることを確認し、ハンドルの凸部とラインを合わせてはめ込み、ハンドルとカバーのすき間が約1mmになっていることを確認する。

**注 意**

**必ずすき間が約1mmになっていることを確認してください。**

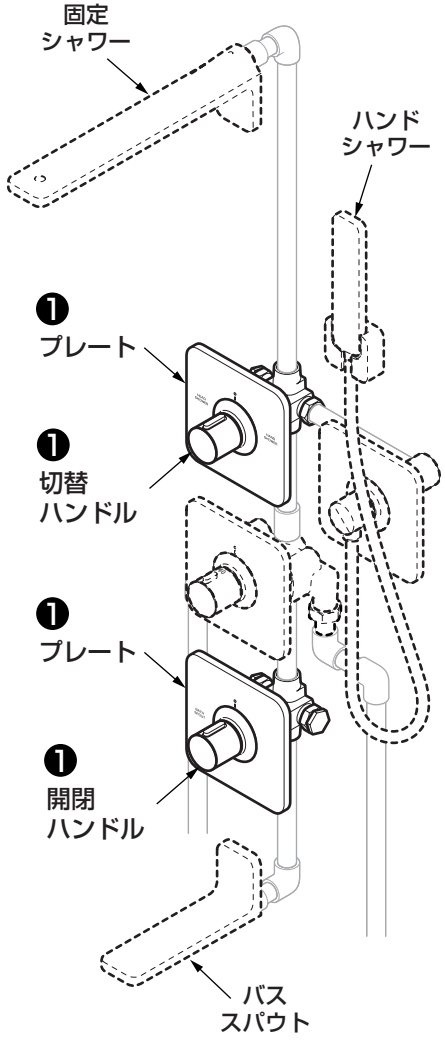
1mm以下になると、ハンドル下端とカバー上端がこすれ、正常な操作ができなくなります。




⑥ハンドルを小ねじで固定してキャップを取り付ける。

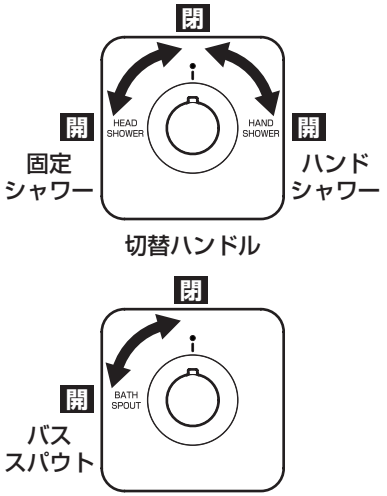
# 8 点検項目

**取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。**




### 水出し確認

取り付けが完了したあと、配管部の元栓を開け、ハンドルを回し、水が下図のように出ることを確認してください。




### ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

❶プレート・ハンドルのガタツキはないですか?

→ 7-2 — 5「プレート・カバー・ハンドルの取り付け」参照